

## 外来生物対策国際シンポジウムプログラム

開催日：平成 16 年 8 月 29 日（日）

時刻	内容
13:00 ~	受付（開場）
13:30 ~	開会
13:35 ~ 13:40	挨拶
13:40 ~ 14:00	講演「外来生物法の概要と環境省の取り組み」 上杉哲郎（環境省自然環境局 生物多様性企画官）
14:00 ~ 14:30	講演「各国における外来生物対策について」 Dr Mick Clout（University of Auckland）
14:30 ~ 15:00	講演「イギリスにおけるヌートリア根絶事例について」 Mr Simon John Baker（UK Department for Environment, Food and Rural Affairs）
15:00 ~ 15:20	講演「北海道のアライグマ対策」 新田紀敏 氏（北海道環境生活部環境室自然環境課 主査）
15:20 ~ 15:40	講演「奄美大島におけるマンガースの防除について」 石井信夫 氏（東京女子大学 教授）
15:40 ~ 16:30	パネルディスカッション「外来生物の防除に係る課題について」 コーディネーター：岩槻邦男 氏（放送大学 教授） パネラー：上記講演者
16:30	閉会

### 参考：海外招聘者の略歴

<Dr Mick Clout ミック クラウト氏>

オークランド大学教授、国際自然保護連合外来種対策専門委員会座長。専門分野は保全生態学、動物生態学。鳥類と植生の相互作用、侵略的外来種生物の生物多様性に関する研究に従事。現在は、ニュージーランドでのフクロギツネの生態、行動における研究から、防除、対策まで幅広く活躍している。

<Mr Simon John Baker サイモン ジョン バイカー氏>

リード大学卒業、アバーdeen大学院修了、専攻は動物生態学。1976年よりイギリス政府によるヌートリア駆除対策事業に携わる。対策チームのリーダーとして、1990年に駆除を成功させ、現在は、英国環境・食糧・地方省（DEFRA）の哺乳類専門家として、侵略的な外来種の対策、動物伝染病に関する危機管理などに従事している。